

安衛研発第 10819003 号

令和 6 年 8 月 1 9 日

公益社団法人 全国有料老人ホーム協会
理事長 中澤 俊勝 殿

独立行政法人 労働者健康安全機構
労働安全衛生総合研究所
所長 鷹屋 光俊



『社会福祉施設等の転倒災害防止を中心とした安全管理の実態に関する
インタビュー調査』へのご協力をお願い

平素より社会福祉施設等での労働災害防止にご尽力いただきまして厚く御礼申し上げます。

近年、社会福祉施設等で働く労働者の方々が、工作中に転倒災害に遭ってしまうことが問題となっており、安全対策を検討することが急務となっております。

このような状況を受け、労働安全衛生総合研究所では、社会福祉施設等の労働者の方々の転倒災害防止を推進するための調査研究を実施しているところでございますが、この度、社会福祉施設等の施設長の方々を対象に、転倒災害防止を中心とした安全管理の実態に関するインタビュー調査を実施することとなりました。

つきましては、本インタビュー調査の実施に関して貴会のご協力を賜り、貴会員の皆様へお知らせいただきたく、ご連絡させていただきました。お忙しいとは存じますが、下記の調査内容をご一読いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

『社会福祉施設等の転倒災害防止を中心とした安全管理の実態に関するインタビュー調査』

1. 調査の意義・目的

近年、社会福祉施設等で働く労働者の方々が、工作中に転倒災害に遭ってしまうことが問題となっています。労働者の方々の転倒災害を防止するには、施設として、どのような安全管理がなされていてどのような問題点があるのか、反対に、人手などが不足する中でどのように工夫してうまく安全管理をされているのかなど安全管理の実態について調べ、それらをもとに有効な安全対策を検討することが重要となります。回答に正解はありませんので、皆さんの施設での取り組みなどについてざっくばらんにお話ししてください。

2. 調査対象者

社会福祉施設等を管理される管理者（施設長）の方で、参加に同意していただける方をお願いをさせていただきます。

15 施設を目標とさせていただければと思います。

3. 調査の内容

調査は、以下の項目について詳しく伺います。

- ①施設の基本情報（職員数、職種、利用者（対象者）、利用者数、作業状況、安全教育の実態など）
- ②労働者の転倒災害の発生状況（過去の労働者の転倒災害の発生状況、転倒災害の典型例など）
- ③労働者の転倒災害防止のために、組織として実施していること
- ④労働者の転倒災害防止のために、施設として（管理者の方が）実施していること
- ⑤労働者の転倒災害防止のために、労働者の方自身が実施していること
- ⑥労働者の転倒災害防止にあたり、安全管理の問題点
- ⑦労働者の転倒災害防止にあたり、安全管理の工夫（うまく取り組んでいること）
- ⑧その他、労働者の転倒災害、あるいは、労働災害全般を防止するにあたり、安全管理に関する行政、労働者、利用者などへの要望など

調査に要する時間は、1時間～1時間30分程度を予定しています。

4. 実施期間

2024年9月頃～2025年8月頃

参加していただける皆様のご都合に合わせて、施設へ伺います。

5. 本調査の謝礼

労働安全衛生総合研究所の謝金基準に従い、謝礼をお支払いいたします。

6. 本件に関するご問合せ先

研究責任者・個人情報責任者：高橋 明子（たかはし あきこ）

独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所

リスク管理研究グループ 上席研究員

e-mail：takahashi-akiko@s.jniosh.johas.go.jp

以上